

## 興る！太子高校！！

### 修学旅行でのまなび その2

本年度は、「興る！太子高校！！」をキーワードに、内なる力に気づき主体的に伸ばそうとする生徒の育成を目指します。校長通信では、そうした太子高校の「今」をお伝えできればと考えています。

10号では震災学習のことをまとめました。今回は、体験学習などについてまとめます。

ほとんどの生徒が「想像以上に楽しかったクラスの団結が強まった！」と感想を寄せたのが、秋田のわらび座でのミュージカル鑑賞と踊り体験です。昨年のおすかホールで見た芸術鑑賞会もわらび座の「キンジロー！」でした。そのことを覚えていた生徒は、「もう一度わらび座のミュージカルが見られると思って、とても楽しみにしていました」と書いています。クラスごとにインストラクターの方に指導していただき、オリジナルダンスを組み入れた踊り体験は、たった2時間で仕上げたとは思えないほど、どのクラスも息がぴったり合って全員が本当に楽しく踊っていることが、伝わってきました。わらび座の方々も、生徒が解散した後に「こんなに全員がまとまって楽しく演じてくれた学校は初めてです。私たちが感動しました。」とおっしゃってくださいました。遠い秋田まで出向いた甲斐がありました。また、ダンス部の生徒たちが披露したダンスは、生徒にもプロのダンサーの方々にも大好評でした。さすが！です。

生徒の感想を少し紹介します。

- この修学旅行では、学ぶこともたくさんあり、楽しいこともたくさんあり、いい思い出がいっぱいできた、最高の修学旅行になったんじゃないかな、と思います。
- (修学旅行の) ふたを開けてみれば、それはそれはとても楽しい出来事の連続でした。ウノ・トランプ、みんなで食べた朝食、夕食そして少人数でのホテルでの生活。どれもが僕にとって刺激的で忘れられない貴重な思い出となりました。
- 最初は正直、なんで沖縄とかじゃないん、とっていました。でも、東北に行ってみると、東北には東北の良い所があることがわかりました。(中略) 長いようでとても短かった四日間は、このメンバーで行ったからこそ充実したものになったんだと思います。
- 修学旅行に行く前は東北ときいて特に行きたいと思うところは思いつきませんでした。正直あまり楽しみではありませんでした。しかし、実際に行っているいろんなことを体験してきて帰ってきた今はとても楽しすぎて、もう一度行きたいくらいになっていました。(中略) クラスで作った思い出を大切に、次の行事も成功させたいです。

「修学旅行は有意義で楽しかった」という感想がほとんどでした。中には、「修学旅行は全体的には楽しかったとは言えないけれど、楽しめるところはできる限り楽しみました。」という感想もありました。自分の中で気持ちと経験に折り合いをつけて4日間を過ごした生徒もいたことがわかり、「これもひとつの成長の姿だなあ」と感じ入りました。

また、全体に移動時間が長かったことの指摘も、多くの生徒の感想文に書かれていました。東北の地理や交通事情も関係していますが、ほんとうに長かったですね。嬉しかったのは、「来年の修学旅行では、こういう事が無いように工夫してあげてください」という意見を書いてくれたことです。それも、何人もです。自分たちのしんどかった経験を下級生にはさせないでと気遣ってくれる優しさ。太子高校の宝です。みなさん、ありがとう。